

# 西中水れら



学校の教育目標：自ら学ぶ 共に生きる 努力一輪 4本柱：授業、挨拶、掃除、合唱

## 生徒が精いっぱい頑張る姿に感動！

校長 細井 孝治

2学期がスタートして1ヶ月ほどが経ちました。生徒たちは、『日常で勝負！』『日常生活で自分を出し切る！』をキーワードに、水滴1滴の努力を重ねています。この9月も、たくさんの生徒の頑張りをみることができました。

### 自分たちの手で創り上げた最高の福井研修！

9月8・9日に、2年生が福井研修に行ってきました。2学期がスタートして間もない時期での宿泊研修でしたが、1学期から計画的に準備を進めるとともに、毎日の学校生活、「日常」を大切にしながら、研修への意気込みをグッと高め当日を迎えました。

研修当日は、台風接近で波も高く、活動の中止も懸念されましたが、無事すべての活動をやり切ることができました。カヤック、漁船クルージング、浜でのサンドアートづくり、鯛釣り、自分で釣った鯛を開き、刺身と焼き魚にして食すなど、とても魅力的な活動ばかりで、普段、岐阜県や学校では体験できないような活動に、生徒たちは目を輝かせながら、仲間と力を合わせ生き生きと取り組んでいました。また、今回の研修は各学級、それも男女に分かれての分宿ということもあり、風呂や食事、民宿の方から学ぶ会など、自分たちに任される部分が多くありました。生徒たちは、自分たちで考え判断し、仲間の思いを受け止めながら民宿での生活をやり抜きました。民宿代表の方からも、次のようなお話をいただきました。



大きな学校なのでとても心配していたが、西中の皆さんの活動ぶり、民宿での生活ぶりを見て、大規模校へのイメージが大きく変わりました。

- ・大きな学校なのにとってもまとまりがあり、ルールや時間をしっかり守って生活できる。
- ・先生や民宿の人に指示をされなくても、自分たちで考えて進んで動ける。
- ・お手伝いや掃除など、一人一人が気付いてよく動ける。
- ・人の話をきちんと聞いたり、気持ちのよい挨拶ができたりと、優しく思いやりがある。

あつという間の研修でしたが、生徒たちはかけがえのない貴重な経験をし、多くのことを学んだと思います。何より、毎日の学校生活で身に付けてきた力を存分に発揮し、自分たちの手で研修を見事に創り上げた姿は立派でした。この経験、自信は彼らをさらに成長させるものと期待しています。

### 水滴1滴の努力を重ねる

本校では、熱中症の予防や学級づくりを目的に、体育大会を6月に実施しています。6月実施は今年で2年目となりますが、例年とは雰囲気異なる9月です。夏休み明けからスタートダッシュで慌ただしく1日1日が過ぎていくこれまででしたが、ゆったりと時間が流れます。そんな中、生徒たちは前期の自分を振り返り、成果を再確認したり課題を克服するよう努めたりと、日々の生活や学習を大切にしながら前期の締めくくりに取り組んでいます。

生徒会執行部(毎日)やMS Jリーダーズ(毎水曜)が朝のあいさつ運動を展開する中、あいさつの質(声量・先がけ・目を見て)が高まってきています。掃除は実に見事です。全校が黙動で隅々まで意識して取り組みます。シーンと静まり返った掃除の時間は、西中生の意識の高さ、心意気を感じます。授業では、「相手意識のある聞き方・話し方」に取り組んでいます。また、ペアや班、学級全体で意見を交流し、考えを広げたり深めたりすることを大切にしながら、自分たちの手で「わかる」「できる」授業を創り上げようと全校で取り組んでいます。